

興居島から大都市圏へ 「柑橘ジュース」の販路開拓支援

支援機関 松山商工会議所 支援内容 販路開拓・被災地支援 支援区分 被災地支援

池本ゆたか農園

事業者 概要

社名／池本ゆたか農園
代表者名／池本 かおる
業種／農業・加工食品製造・販売業
所在地／松山市由良町40-1
設立／昭和34年1月
従業員数／3名



「NEXT ONE」金賞受賞
「AIKA28ストレートジュース」

支援に至る経緯

池本ゆたか農園（以下、「当社」という）は、興居島にて家族で柑橘農家及び食品の製造・販売を営む事業者。当社が製造・販売する柑橘ジュースの販路開拓に関する相談で松山商工会議所（以下、「会議所」という）に来所されたことをきっかけに支援をスタートした。

支援内容

1. 豪雨災害からの復興支援

同社は、平成30年7月に発生した西日本豪雨で被災。会議所では被害状況を把握するため、現地を訪問し、圃場へ向かう道路は、土砂崩れにより通行できない状態であり、被害の少なかった圃場についても、現地に行くことができないため、防除作業などが実施できない状況であった。



2. 専門家による経営相談

豪雨災害からの復興及び当社が抱える課題を明確にするため、ミラサポを活用し、専門家の支援を受けながら現地にてヒアリングを行い、現状分析後、今後の経営計画を見直した。この中で、今回のようにいつ起こるか分からない自然災害に対応するため、加工食品、特に柑橘ジュースの販路開拓を重点的に行うこととなった。

3. 販路開拓の支援

域内販路を開拓するため、会議所が主催する「会員間ハイブリッド商談会」に出展。域内の大手企業や中小企業とのビジネスマッチングを行った。また、首都圏販路開拓を支援するため、首都圏のバイヤーによる個別相談会に参加し、商品のブラッシュアップを行った。さらに、国の伴走型支援事業を活用し、10月16日～18日まで、愛媛県大阪事務所で開催した会議所主催の「えひめ・まつやま“美味しいもの”フェア」にも出展した。

支援の効果

当社のジュースは、木なり完熟を行い最も味と香りが成熟したものをジュースに加工しており、原料を良く知る生産者という強みを活かして“美味しさ”を追求した逸品であり、一度購入いただいたお客様からリピートが多いのも特徴である。支援により、商品のブラッシュアップのほか、インターネットにおける受注増加につながった。平成30年には、商品の周知を図るため、会議所が実施する新製品コンテスト「NEXT ONE」に応募し、当社製品の「AIKA28ストレートジュース」が金賞（松山商工会議所会頭賞）を受賞。このような販路開拓に取り組んだことから、料理関連の雑誌や新聞などに商品が取り上げられるようになり、大都市圏での新規取引先は約20件増加し、売上拡大につながっている。域内はもちろん、域外にもニーズが一定度あることがわかり、今後のさらなる販路開拓の可能性を見出すことができた。



えひめ・まつやま“美味しいもの”フェア
（愛媛県大阪事務所）への出展

今後の展開

豪雨災害からの復興も着実に進んでおり、生産量の回復も見込めるため、今後は、首都圏等、域外でのさらなる売上拡大を目指す。このためのマーケティングとして、会議所が中小企業庁の伴走型小規模事業者支援推進事業を活用して、携帯電話による首都圏在住者約5,000名に対してアンケート調査を実施したところである。今後、調査結果を検証し、首都圏でのブランド化につながる商品のブラッシュアップに取り組む。また、引き続き専門家を活用しながら、首都圏や海外への販売戦略の策定、施策の着実な実行により、販路開拓を進めていく。

事業者の声

専門家やバイヤーとの接点をいただき、“美味しさ”を追求するためのニーズや技術面でのヒントを頂けることが、商品ブラッシュアップや注文増加に繋がっていると思います。また、「NEXT ONE」で金賞を受賞したおかげでお客様にも商品を勧めやすくなり、情報発信力も高まりました。今後も“美味しさ”を追求し、1人でも多くの方に喜んでいただける商品の提供を続けていきたいと思えます。



(左) 池本 かおる
(右) 池本 圭司

支援者の声

池本さん一家の想いとこだわりが詰まった当社のジュースは一度飲んで頂きたい自慢の逸品です。これから1人でも多くの方にその“美味しさ”が伝わるよう、支援者として出来ることを一つずつ積み上げていきたいと思えます。また、引き続き、販路開拓を目指す企業様に寄り添いながらきめ細やかな支援に努めて参ります。



経営指導員 永原 和弥